

## 第67回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）会議記録

日時 令和8年3月19日(木) 13時30分～14時05分

会場 新津医療センター病院 大会議室

参加者 11名 欠席 15名

### 1. 連携手帳の現状と問題点

#### ・利用状況

手帳の新規入荷については問題なく行われている。

むすびあい手帳が出された当時のポスターを配布。少しきれいにして配布するなどもPRになるか。

### 2 連携手帳の発展的活用について

今回は特になし。

### 3 新潟市 IT 連携

新津医療センター病院としても予算に組み込みスワンネットへの取り組みを強化する予定。動画の取り込みや画像の送信など以前より使い勝手が良くなっている。手帳委員会としても両輪で情報共有をしたいということで多くの参加に期待したい。

### 4 地域連携手帳委員会の今後の運営について

手帳委員会が発足して16年が経過。話の内容もマンネリ化してきているか。連携運営委員会も同様のことが言える。本日は年度末でもあり欠席も目立つ。今後の委員会のあり方について委員皆様から率直な意見を。

- ・もともと連携委員会が分化して発足。ある程度手帳に関する意見が無ければ運営委員会に戻すのも方法か。
- ・連携運営委員会よりも介護職が多く、多職種連携の上では存在の意味があるのではないか。介護組織の代表として参加している人もいる。
- ・どちらも代表で出ていると同じような内容を聞くことになり時間的には有効でない。
- ・それぞれ昼と夜の時間設定で。夜は集まりにくい。逆に昼は時間のゆとりがないなど様々である。
- ・そもそも意見があるところで意義が有り、意見がなければ集まる必要性があるのか。

- ・介護側としては、秋葉区では使うことが当たり前としている。問題は医療側であり、幅広く使って頂けるように PR が必要では。
- ・栄養としては安定して使われている実感がある。
- ・使い方の説明をしていく事についてはどうなったのか。  
→むすびあい手帳に連携手帳の書式をしようするなど秋葉区オリジナルの形がある。ACP のページなども。  
発行方法もケアマネまたはデイ事業所と秋葉区ルールがある。  
説明会の開催については両方の説明書があるため、整理して行う必要がある。

#### 今回のまとめ

各委員会とも今後どうするか・・・時代の節目に来ているのは確かで、今後も議論しいろいろな意見を聞いてみたい。

#### 5 次回の手帳委員会

令和8年6月18日（木）13時30分～  
会場 新津医療センター病院 大会議室

以上